

令和5年度 幼保小連携推進地区事業

活動報告

青葉区 恩田地区

- ・認定こども園ナザレ幼稚園
- ・横浜市立恩田小学校

テーマ

子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小連携



なぜ、幼保小をつなぐことが必要か

テーマ設定の理由

長い目で見た子どもの育ちを実現するため
幼少期の教育が、その後の学校教育や大人になってからの活動の基盤を作るため
それぞれの成果をつなぎ、連動してこそ生涯にわたる教育の基礎が培われるため

そのために

- 幼児教育と小学校教育の各々の充実が必要
- お互いの理解が欠かせない



認定こども園 ナザレ幼稚園

四恩は四端から始まる



人間の人格形成は、心の中にあるこれら四つの特性の発見から始まります。

子どもたちは皆、自分の心の中にある「四端」を引き出し、これらを「仁」「礼」「義」「知」に育てあげるという課題を負っています。

これを導き、手助けすることこそが、私たちの教育の使命です。

ナザレ幼稚園ホームページより引用

恩田小学校 学校づくりのビジョン

「子どもを育てる」学校から
「子どもが育つ」学校へ



子どもたちが安心して自己発揮できる学校を教職員、家庭、地域などみんなで作っていききたい。

一人ひとりの子どもを徹底的に大切に、教職員が子どもたちの伴走者になりたい。

「この人に伴走してもらいたい」と思ってもらえるような教職員でありたいと思います。

推進内容

- A** 園と学校で進めるスタートカリキュラムの開発 カリキュラム・マネジメント
- B** 保育参観や授業参観を通じた教職員の連携
- C** 子ども同士の交流活動

A-1 スタートカリキュラム（4月） 園を参考にした教室環境であそびタイム



教室の中に園を参考にしたあそびコーナーを設けました。朝の支度が終わったら、たっぷり遊び、人間関係を深める時間をとることで安心感を育みます。

学年スペースには、廃材コーナーを設けました。自由に造形あそびをしたり、おもちゃにしてあそんだり想像力を働かせて過ごしています。

A-2 スタートカリキュラム（4月）

安心・楽しいを育むなかよしタイム



園での生活を参考にして、歌や踊り、絵本の読み聞かせなどから1日を始めます。
「わくわくタイム」と呼び、ゆっくりと朝の会へと移行しました。

A-3 スタートカリキュラム（4月）

やってみたい！を大切にしたわくわく・ぐんぐんタイム

園での経験を思い出し、話す時間を大切にすることで学びのルールを子どもが自ら作り、主体的な学習へつながるよう促しました。

生活科：おんだしょうをたんけんしよう！
子どもが見つけたはてなから学校探検が始まり、「じぶんたちの学校の地図をつくりたい！」という思いをもって活動しました。



生活・国語：
としょかんをたんけんしよう！
学校図書館を探検し、図書館の利用の仕方や学校司書が関わっていることよさに気づき、経験したことをそれぞれが表現しました。

同じはてな？が子どもたちから出てきても、子どもたちの個性や声から各クラスで進め方や内容を変えています。

A-4 スタートカリキュラムの意義を 園や保護者に伝える

- スタートカリキュラム公開授業研究会に園の先生にも参加してもらい、スタートカリキュラムの意義を共有しました。（B-2）
- 就学時健診・入学説明会では、新入生の保護者にスタートカリキュラムについて説明しました。
- 学校ホームページに、スタートカリキュラムについて掲載しています。



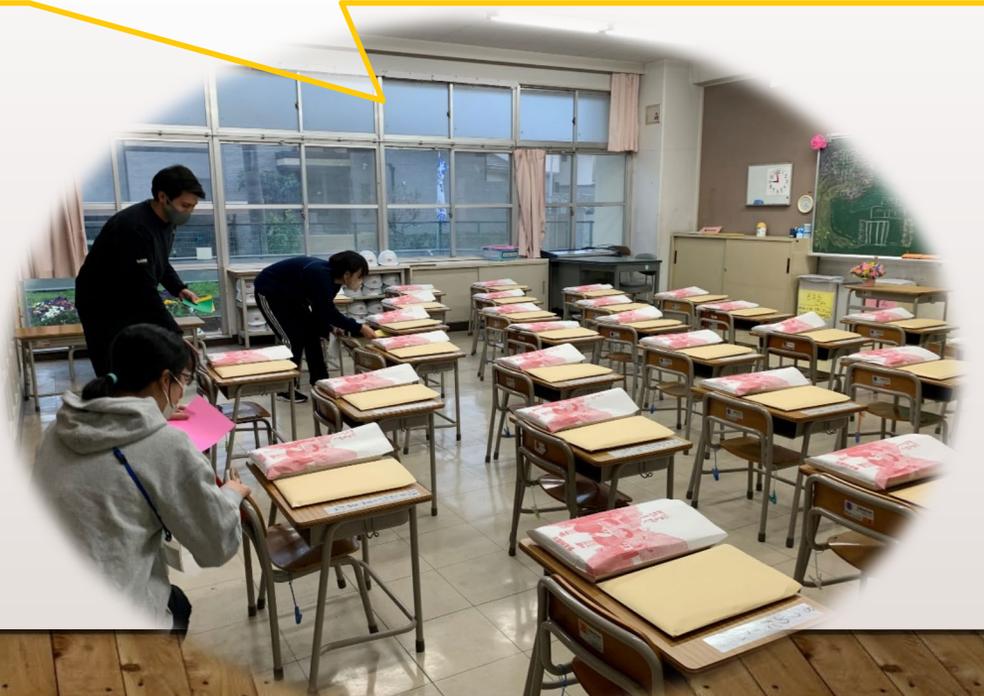
B-1

スタートカリキュラムミニ研修会（4月）



昨年の学校探検のビデオから子どもたちへのかかわり方を学びました。

入学式に向け、机の中に折り紙を準備したり、名前の札を用意したりと、多くの教職員でスタカリの準備を行いました。



B-2

スタートカリキュラム公開授業研究会(5月)



多くの小学校や園の先生方が参加してくださり、授業についての**グループ協議**や**情報交換**が活発に行われました。
また、座談会のなかで当日寄せられた質問に講師の先生方や授業者が答えました。

國學院大學の**吉永安里先生**、東海大学の**寶來生志子先生**をお招きして、スタートカリキュラム公開授業研究会を行いました。

B-3・4

からんこ山の見学・交流の打ち合わせ 年長児クラスの公開保育参観、引き継ぎ



実際にからんこ山を見学し、園の豊かな自然の環境を活かした交流の内容を一緒に考えました。

公開保育を通して、園での子どもたちの様子も見ていただきました。

C-1・2

ナザレ幼稚園からんこ山での校外学習(11月)

ナザレ幼稚園からんこ山での交流会(11月)

ナザレ幼稚園が近隣に保有するからんこ山をお借りして、秋探しや自然遊びを恩田小の1年生だけで行いました。帰りには、「幼稚園のお友達と一緒に秋探しをしたい!」という声が多く上がりました。



ナザレ幼稚園の年長児と一緒に秋探しビンゴを行いました。グループで一緒に秋を見つけ、互いに教え合っていました。

C-2

ナザレ幼稚園の年長児との交流(12月)



年長さんに分かりやすいように会を進めたいな！



一緒にチューリップの球根とお花を植えよう！
入学したら見てね！

C-4

ようこそ恩田小への会(2月)

「ようこそ
しょうがっこう
おんだ小学校へ」

じかん 10:30~11:50

- 1 はじめのことば (10:35)
- 2 みんなであそぼう (10:40~)
 - ・おんだようへいこうよ!
 - ・かもつれっしゃ
 - ・みんなでおどろう
- 3 すきなあそびをやってみよう (11:05~11:35)
- 4 おわりのことば (11:40)



近隣の幼稚園や保育園の年長児を招き、「ようこそ恩田小学校へ」の会を開きました。小学校へ入学することを楽しみにしてもらえるように遊びやプログラムを子どもたちが考えました。

成果と課題

A 園と学校で進めるスタートカリキュラムの 開発 カリキュラム・マネジメント

成果

- ・園での様子や環境を参考にしたスタートカリキュラムを進めることができた。
- ・4月は午前授業にすることで、綿密に打ち合わせをすることができ、見通しをもって子どもたちと関わるすることができた。

課題

入学前の聞き取り時と子どもの様子が大きく変わることもあったため、今後も深く連携を図っていきたい。

成果と課題

B 保育参観や授業参観を通じた 教職員の連携

成果

- 学校全体で研修をしたり授業見学の機会を増やしたりしたこと、子どもたちを支える・理解する体制をつくることができた。
- 学校全体で子どもとの関わりを深めることができた。
- 入学前に次年度の1年生の様子を知ることができた。

課題

- 新1年生と関わる際の声かけに迷いがあったため、具体的な声掛けを入学前に一緒に考えたい。
- 学校の授業参観を設定し、相互に子どもの姿を見合っていきたい。

成果と課題

C 子ども同士の交流活動

成果

- ・ 年長児→来年度の入学を楽しみに期待感をもつことができた。
- ・ 1年生→年下の子と関わることで、達成感や自己有用感をもって次年度に進級できた。

課題

今年は模索しながらの交流活動が多かったため、来年はより関わる機会を増やしたり、活動内容を工夫したりしていきたい。